

### 37 貸借対照表の見方21

(固定・繰延資産と固定負債+自己資本の関係を見ます)

固定長期適合比率をみることになります

月次試算表・貸借対照表(単位:千円) 年 月

固定・繰延資産が固定負債+自己資本以下であることが理想です。

$$\cdot [(固定資産) + (繰延資産)] \div [(固定負債) + (自己資本)] \times 100 = 固定長期適合比率$$

$$[( \quad ) + ( \quad )] \div [( \quad ) + ( \quad )] \times 100 = 【 \quad 】\%$$

前月の固定長期適合比率より増加しましたか、減少しましたか。

$$\cdot 前月固定長期適合比率 < > 当月固定長期適合比率$$

( %分) 増・減

$$[ \quad \%] < > [ \quad \%] \quad 【 \quad \%】 増・減$$

同業者の固定比率より高いですか、低いですか。

$$\cdot 同業者固定長期適合比率 < > 当月固定長期適合比率$$

( %分) 高・低

$$[ \quad \%] < > [ \quad \%] \quad 【 \quad \%】 高・低$$

この固定長期適合比率は、低いほうが良いとされていますし、100%以下が理想といわれています

注)この固定比率は、長期資金源に対する固定・繰延資産の割合をしめすものです。この割合が100%以下の場合、固定・繰延資産の資金源が長期資金で賄われたことになり、非常に安定した資金調達といえます。新規の設備投資の際にどれ位資金の余裕があるかを判断する際に参考にします。100%を超えてしまうと、固定・繰延資産の資金源が、短期資金に頼ってしまうことになり、資金繰りを圧迫します。